

平成22年6月期 決算説明

東証マザーズ 証券コード:3041

株式会社ビューティ花壇

2010年8月19日

1 . 事業内容

企業理念 花をより身近なものとし、美しく豊かな世界を創造する

会社名 株式会社ビューティ花壇 (Beauty Kadan Co., Ltd.)

平成18年6月19日東京証券取引所マザーズ市場上場 発行済株式総数22,108株

本社所在地 東京都港区西新橋二丁目16番2号

拠点 7支社 (東京・西東京・神奈川・熊本・福岡・仙台・大阪)

関連会社 株式会社クラウンガーデネックス(熊本・東京)

美麗花壇股份有限公司(台湾/台北、新竹、台中、高雄)

設立 平成9年1月16日 (創業 昭和49年5月1日)

資本金 2億1,188万円

売上高 3,714百万円【単体】

(平成22年6月期)

4,021百万円【連結】

事業内容 生花祭壇の企画提案・制作・設営及び生花の卸・物流

株式会社ビューティ花壇 エントランス

代表者 代表取締役社長 三島 美佐夫

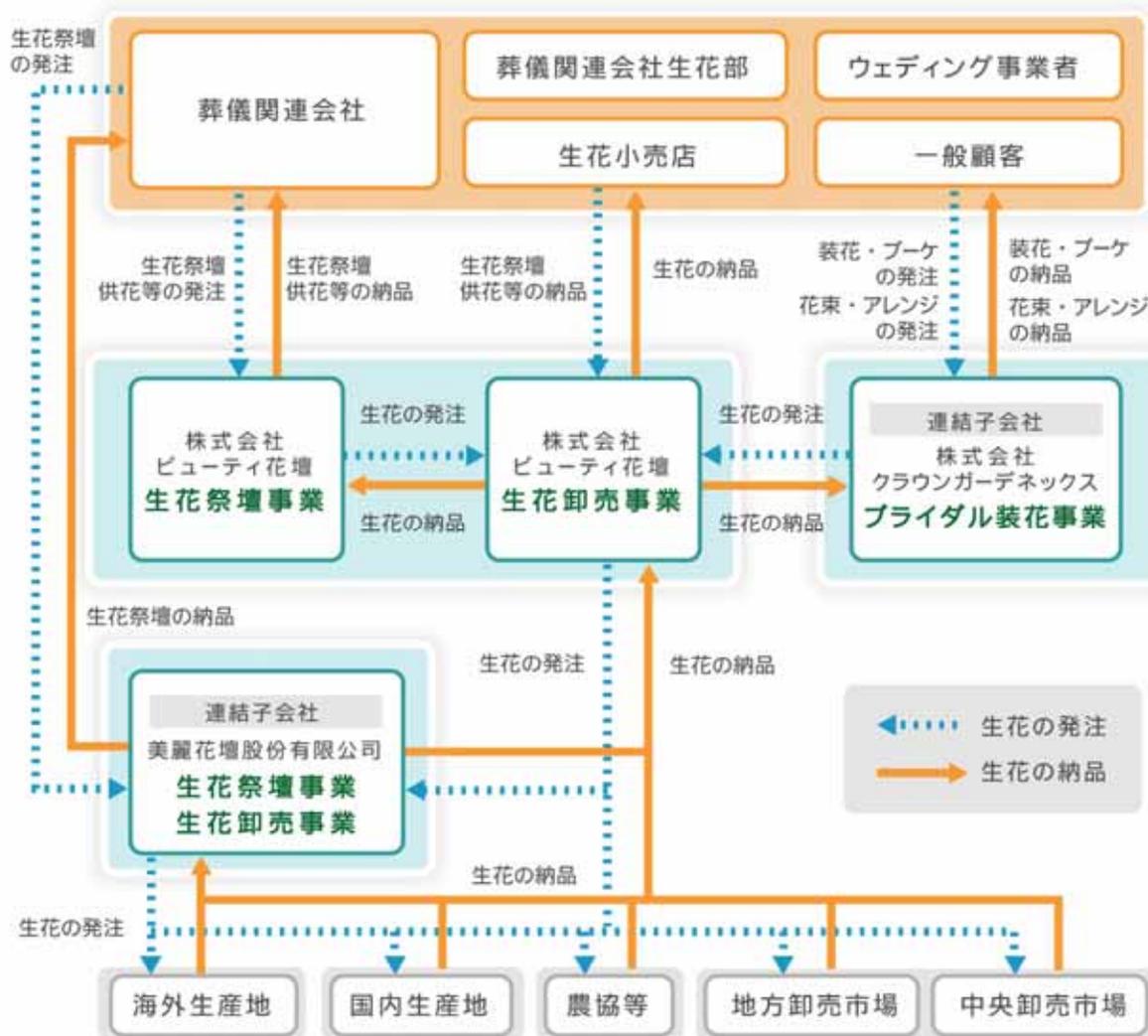
従業員 210人【単体】

266人【連結】 (平成21年12月末日現在)

URL <http://www.beauty-kadan.com>



成長事業「生花祭壇事業」を軸に、相互利益を生み出す「生花卸売事業」を展開



特徴と強み

高い技術力と業界一の知名度

- 業界誌(月刊)に3年間技術指導コーナーを掲載
- 生花祭壇作品集・DVD・技術講習ビデオ製作
- 全国の生花店に対する講習会の実施(出版社主催)
- 業界展示会での祭壇展示・デモンストレーション

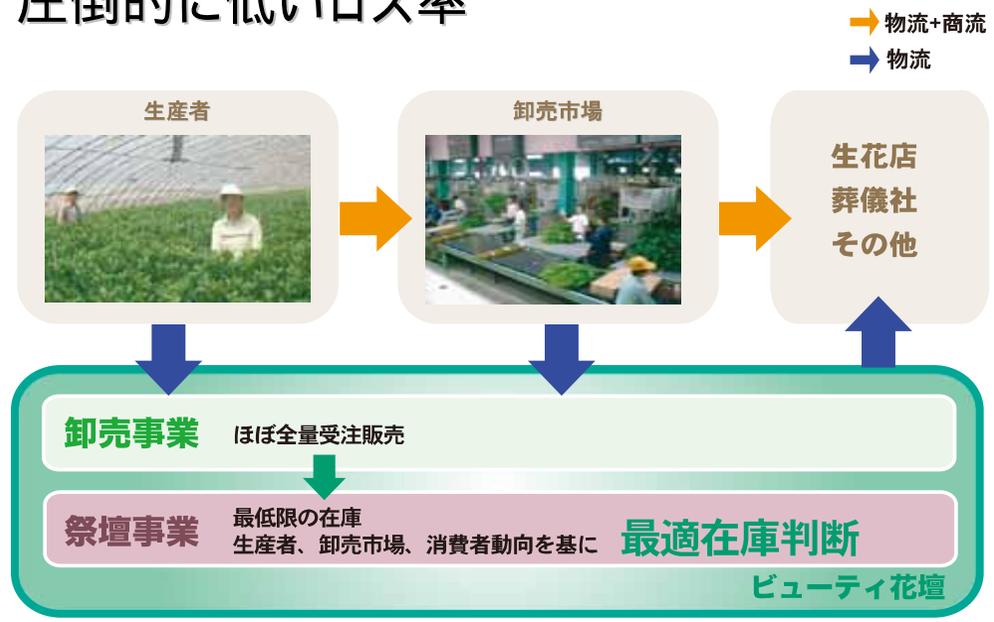


月刊『Funeral Business』での誌上技術指導



2004年4月国際園芸博覧会浜名湖花博
優秀賞、浜松市長賞受賞作品

圧倒的に低いロス率



四半期	9期 (H.17)	10期 (H.18)	11期 (H.19)	12期 (H.20)	13期 (H.21)
仕入本数	13,778,428	16,823,815	20,144,753	22,864,904	22,013,309
ロス本数	49,488	19,297	43,346	173,914	14,775
ロス率	0.36%	0.11%	0.22%	0.76%	0.07%

大手優良生花店で3~5%、
 一般生花店で20~30%といわれるロス率と比較して
 当社は常に**1%未満の低いロス率**をキープ

2 . 決算報告

・平成22年度6月期の業績は、**売上・利益ともに創業以来最高となった。**

単位：百万円 (百万円未満切捨て)	21年6月期		22年6月期		前年同期比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	3,724	100.0%	4,021	100.0%	297	8%
生花祭壇事業	2,978	80.0%	3,059	76.1%	81	2.7%
生花卸売事業	618	16.6%	762	18.9%	143	23.1%
その他事業	127	3.4%	200	5.0%	72	57%
売上原価	2,880	77.3%	3,082	76.6%	202	7%
売上総利益	844	22.7%	938	23.4%	94	11%
販管費	782	21.0%	735	18.3%	47	
営業利益	61	1.6%	203	5.1%	142	227.9%
営業外収益	19	0.5%	21	0.5%	2	
営業外費用	15	0.4%	14	0.4%	1	
経常利益	65	1.7%	209	5.2%	144	219.7%
特別利益	4	0.1%	0	0.0%	4	
特別損失	45	1.2%	27	0.7%	18	
税金等調整前当期純利益	24	0.6%	181	4.5%	157	629.9%
法人税等	39	1.0%	71	1.8%	32	
少数株主利益または損失	0	0.0%	14	-0.4%	14	
当期純利益	15	-0.4%	95	2.4%	111	-

【増減のポイント】

売上8%増

生花祭壇事業：2.7%増
生花卸売事業：23.1%増
その他事業：57%増

営業利益改善

61百万円 203百万円

経常利益改善

65百万円 209百万円

当期純利益改善

15百万円 95百万円

・平成22年6月期の業績は、計画比 **増収・減益**

【増減のポイント】

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成22年2月3日発表)	4,000	230	240	100	4043円16銭
平成22年6月期実績 (B)	4,021	203	209	95	3959円50銭
増減額 (B - A)	21	27	31	5	
増減率 (%)	0.5	11.7	12.9	5	
(ご参考) 前期実績 (平成21年6月期)	3,724	61	65	15	622円42銭

・売上21百万円増
4,000百万円
4,021百万円

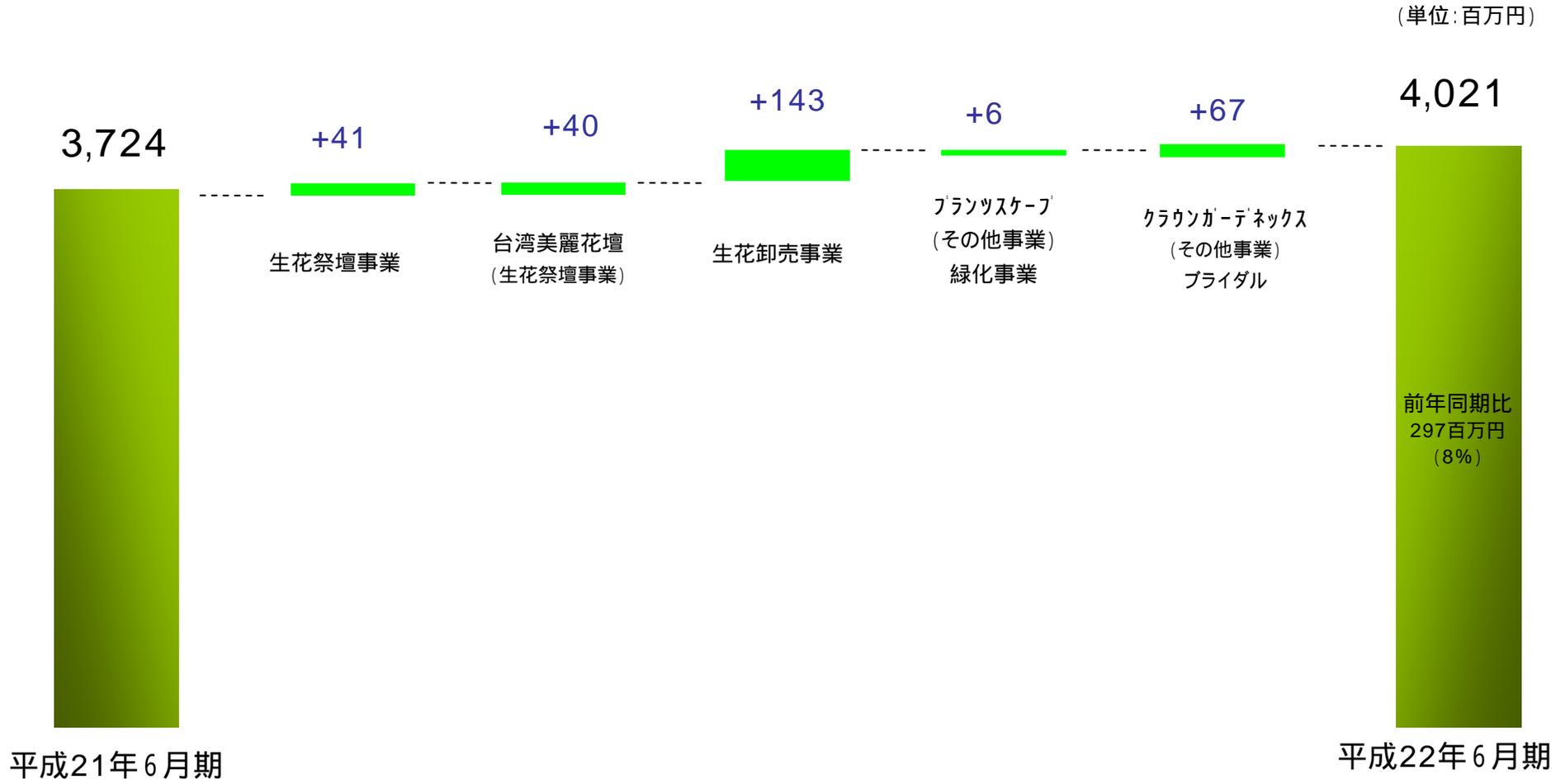
【個別】

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成22年2月3日発表)	3,777	207	219	92	3731円14銭
平成22年6月期実績 (B)	3,714	157	100	37	1565円45銭
増減額 (B - A)	63	50	119	55	
増減率 (%)	1.7	24.2	54.3	59.8	
(ご参考) 前期実績 (平成21年6月期)	3,553	117	123	34	1389円40銭

・個別減益のポイント
クラウンガーデネック
スに対する
貸付金66百万円の
回収可能性について
保守的に見積り、当
事業年度において関
係会社貸倒引当金を
計上

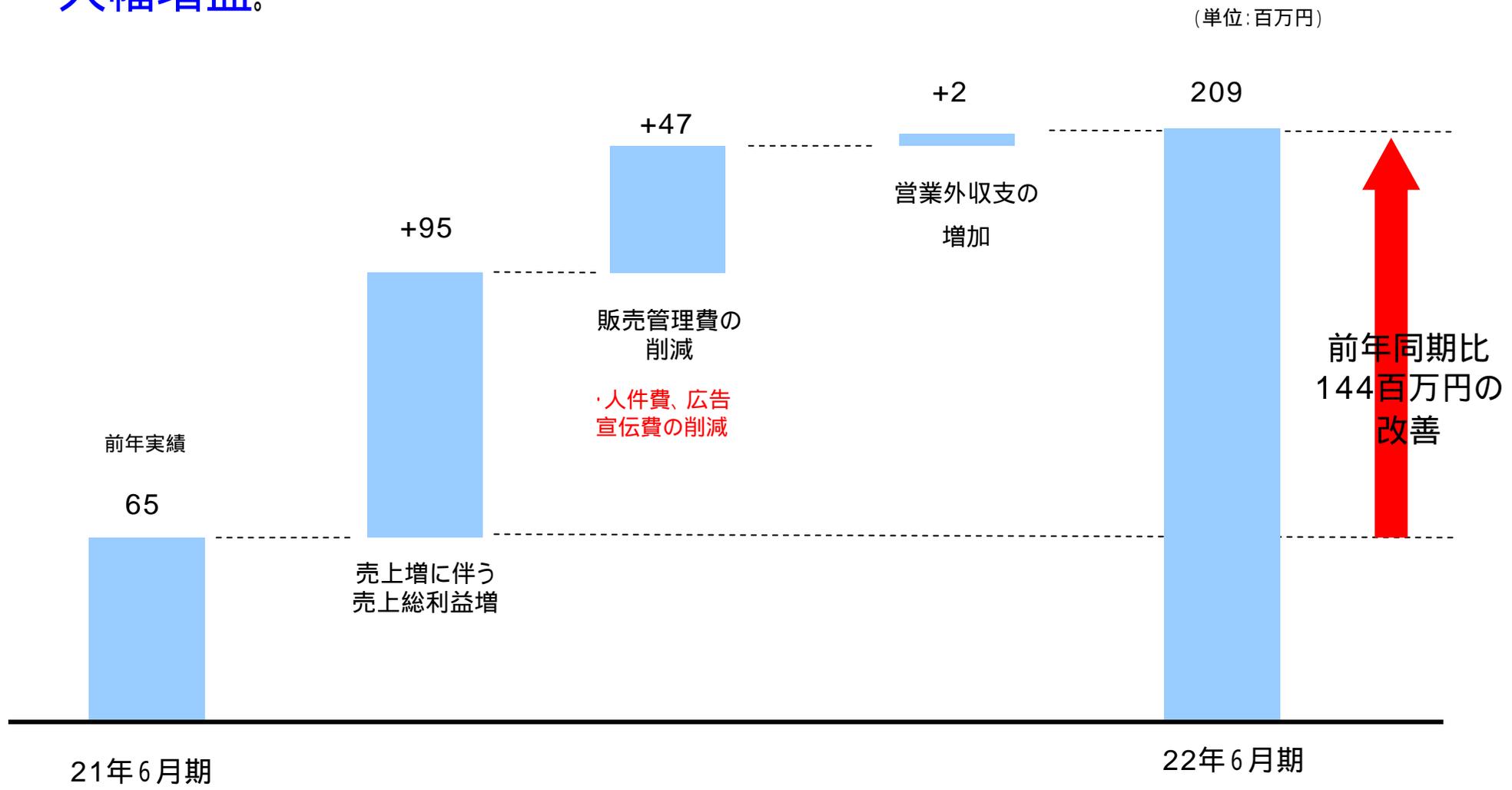
決算のポイント (連結売上高の要因分析)

前年と比較し、すべての部門で売上は拡大。 全社では前期比**297百万円**の増収。



決算のポイント (**経常利益** の要因分析)

前年と比較し、**売上増に伴う売上総利益増、技術部門費の削減**等により、**大幅増益**。



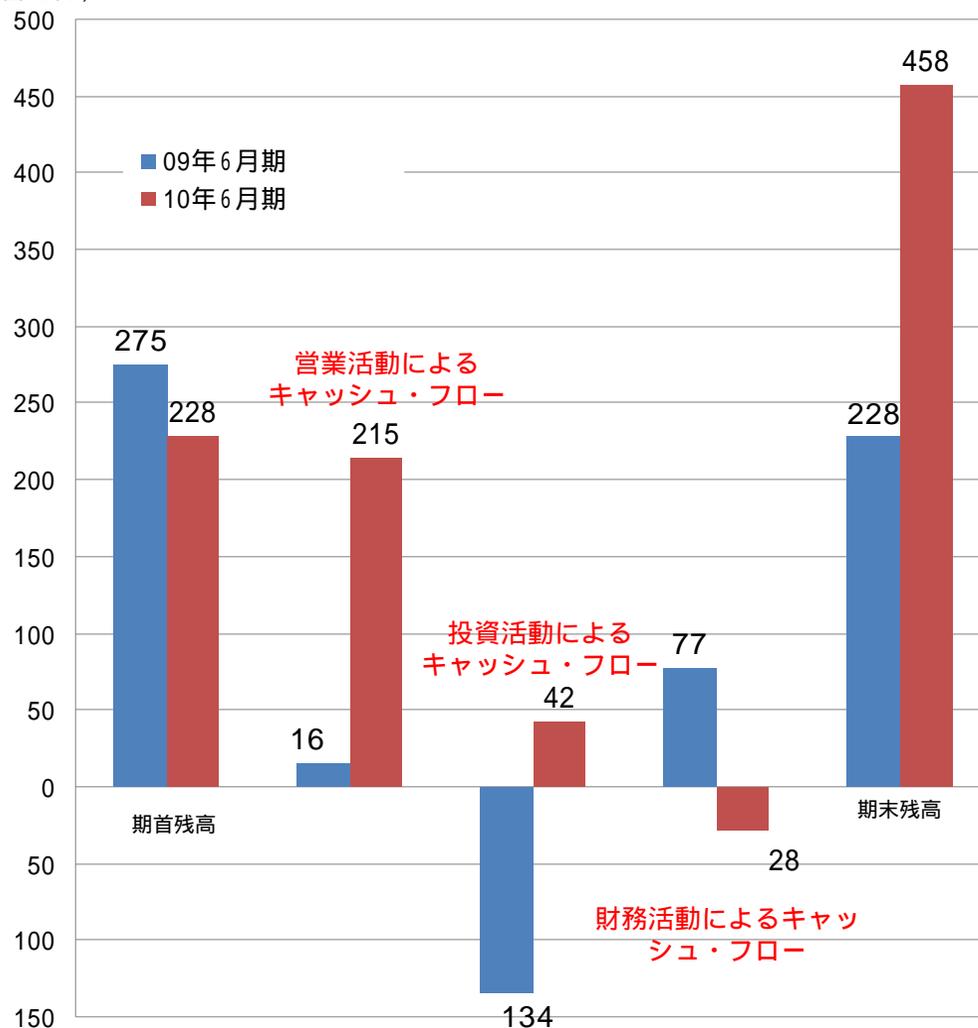
貸借対照表【連結】

単位：百万円	21年6月期		22年6月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	711	54.1%	942	62.7%	231
現預金	228	17.3%	458	30.5%	230
売掛金	352	26.8%	387	25.7%	35
たな卸資産	13	1.0%	21	1.3%	7
有価証券	60	4.6%	-	-	-
その他	60	4.3%	79	5.2%	19
貸倒引当金	4	-0.3%	3	-0.2%	1
固定資産	604	45.9%	561	37.3%	43
有形固定資産	240	18.3%	262	17.5%	22
(減価償却費累計額)	133		159		13
(土地)	122		122		0
無形固定資産	66	5.0%	31	2.0%	35
投資その他の資産	297	22.6%	267	17.8%	30
(差入保証金)	159		140		19
(貸倒引当金)	14		18		4
資産合計	1,315	100.0%	1,504	100.0%	189

単位：百万円	21年6月期		22年6月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動負債	642	48.8%	708	47%	47
支払手形及買掛金	64	4.9%	82	5.5%	48
短期借入金	230	17.5%	231	15.4%	39
1年内返済予定の長期借入金	74		125	8.4%	
未払金	60		61	4.1%	
1年内償還予定の社債	110		50	3.3%	16
未払法人税等	4	0.3%	54	3.6%	16
株主優待引当金	3	0.3%	-		3
その他	95	25.9%	102	26.1%	17
固定負債	189	14.4%	308	14.9%	14
社債	115	8.7%	65	6.6%	25
長期借入金	51	3.9%	202	7.0%	45
退職給付引当金	9	0.7%	11	0.7%	0
その他	12	0.9%	29	2.3%	5
負債合計	832	63.3%	1,016	65.0%	56
資本金	209	15.9%	211	15.4%	2
資本剰余金	129	9.8%	131	9.6%	2
利益剰余金	125	9.5%	212	9.6%	6
自己株式			104	-1.2%	17
株主資本合計	463	35.2%	451	33.4%	6
評価・換算差額等	7	-0.5%	6	-0.6%	1
少数株主持分	26	2.0%	42	2.2%	4
純資産計	483	36.7%	487	35.0%	4
負債・総資産の合計	1,315	100.0%	1,504	100.0%	52

営業活動によるキャッシュフロー改善により、現金及び現金同等物の期末残高は増加

(単位:百万円)

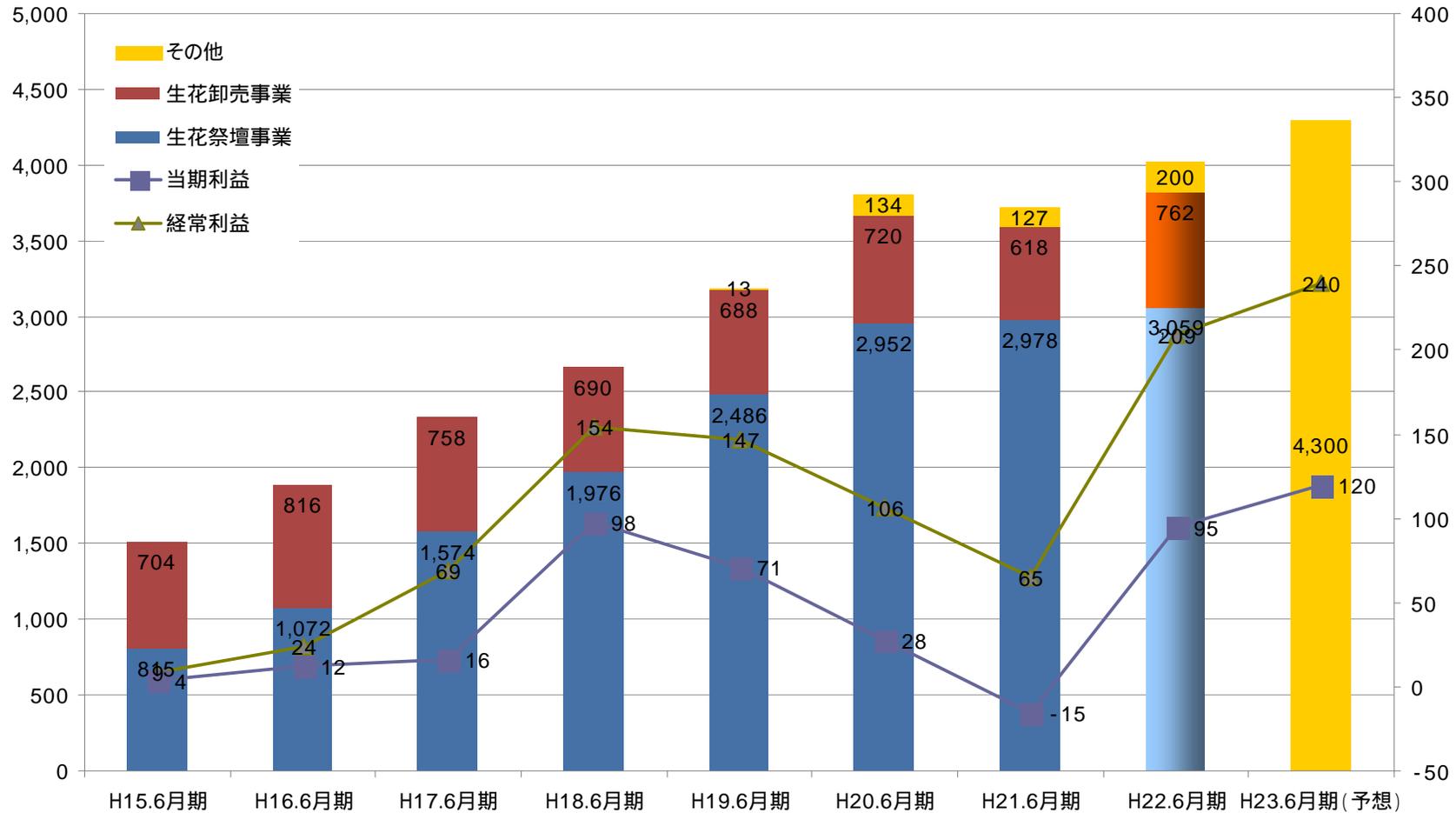


(単位:百万円)	09年6月期 第2四半期	10年6月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	63	37	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	80	20	60
財務活動によるキャッシュ・フロー	36	57	93
現金及び現金同等物の期末残高	168	186	-

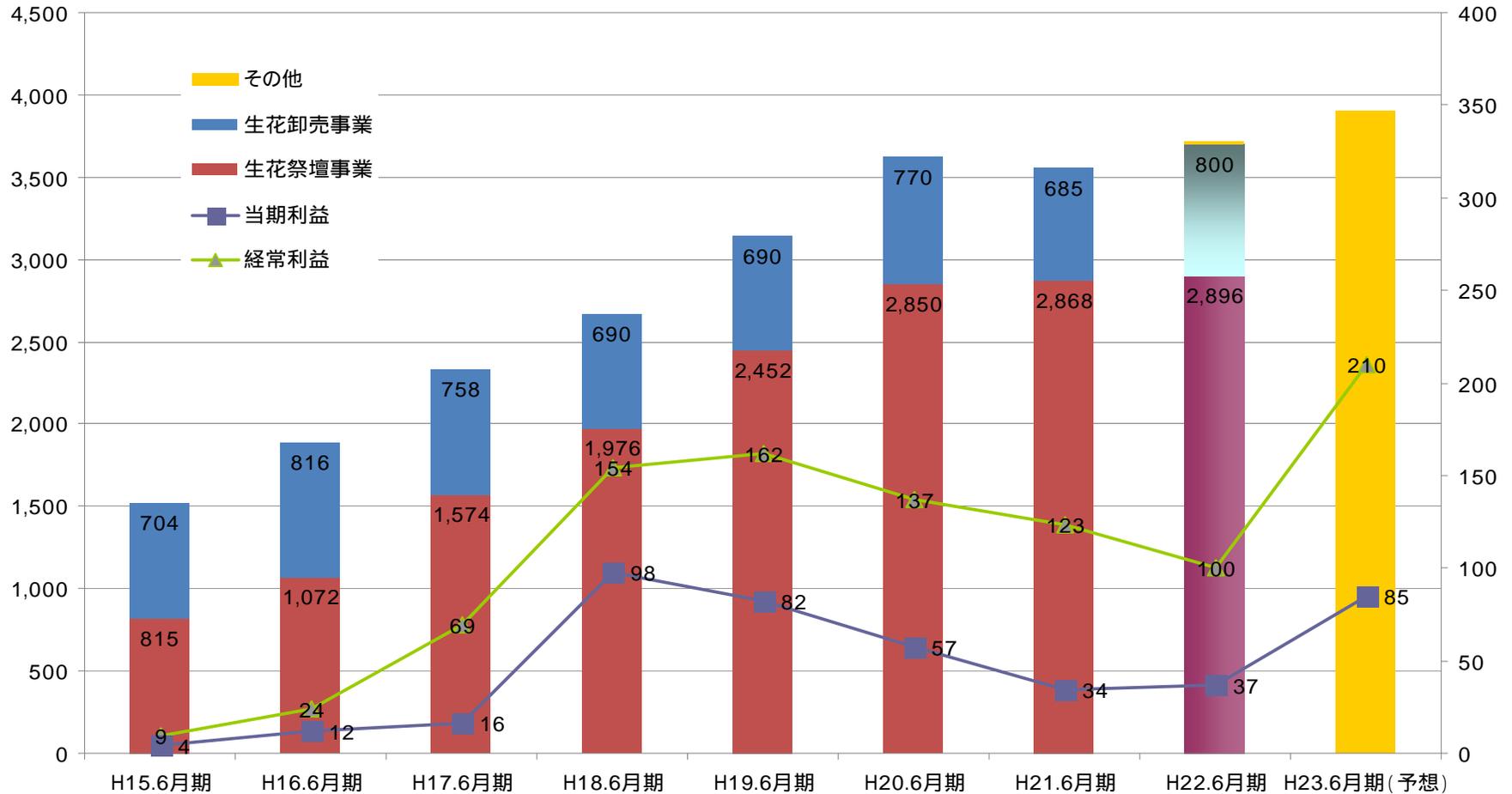
営業活動によるキャッシュフロー		
収入要因	税金等調整前当期純利益	181
	減価償却費	56
投資活動によるキャッシュフロー		
収入要因	有価証券の償還による収入	60
財務活動によるキャッシュフロー		
収入要因	長期借入れ純増	201
支出要因	社債の償還による支出	110
	自己株式の取得による支出	104

3. 今期目標

連結では、**今期売上高43億円、経常利益2億4000万円、当期純利益1億2000万円**を目指す。



単体では、今期 売上高39億円、経常利益2億1000万円、当期純利益8500万円を目指す。

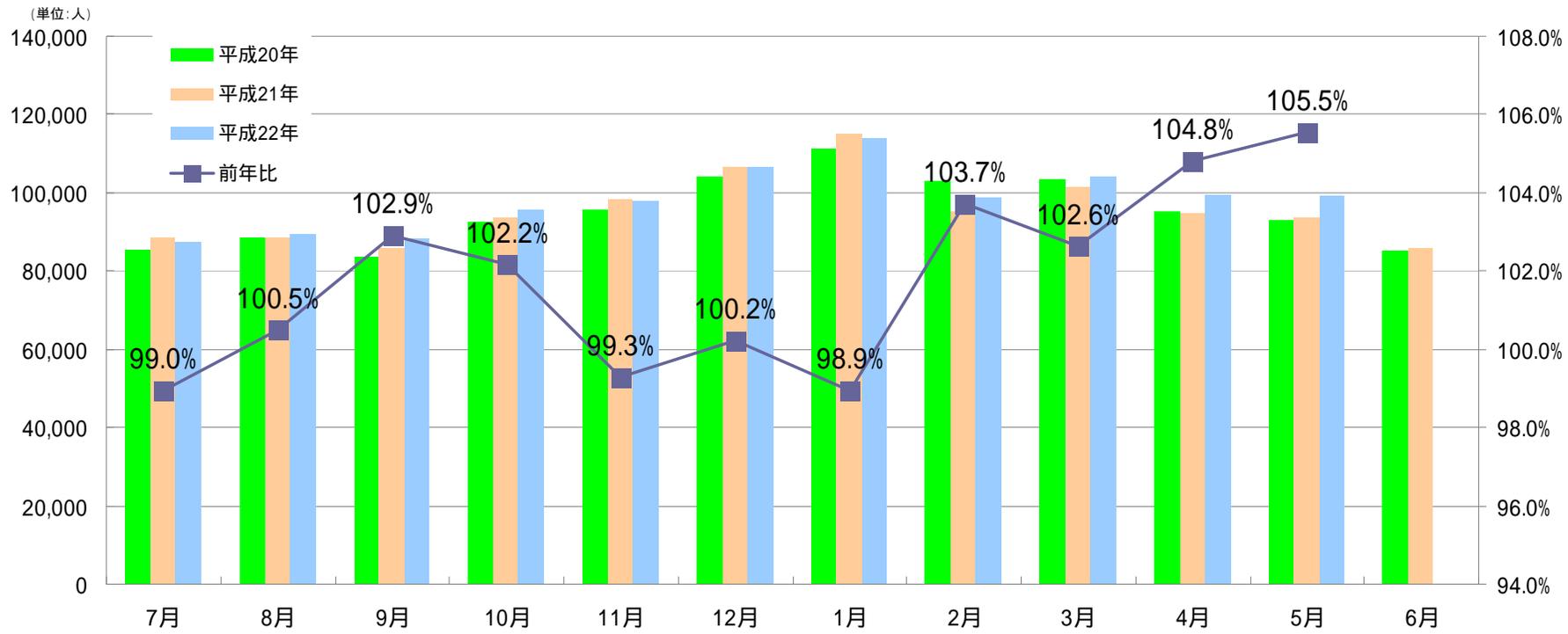


4. 事業報告

生花祭壇事業：(資料)死亡人口推移

死亡人口 年度別 前年同月比較

厚生労働省の最新5月死亡人口データによると前年比で105.5%となった。

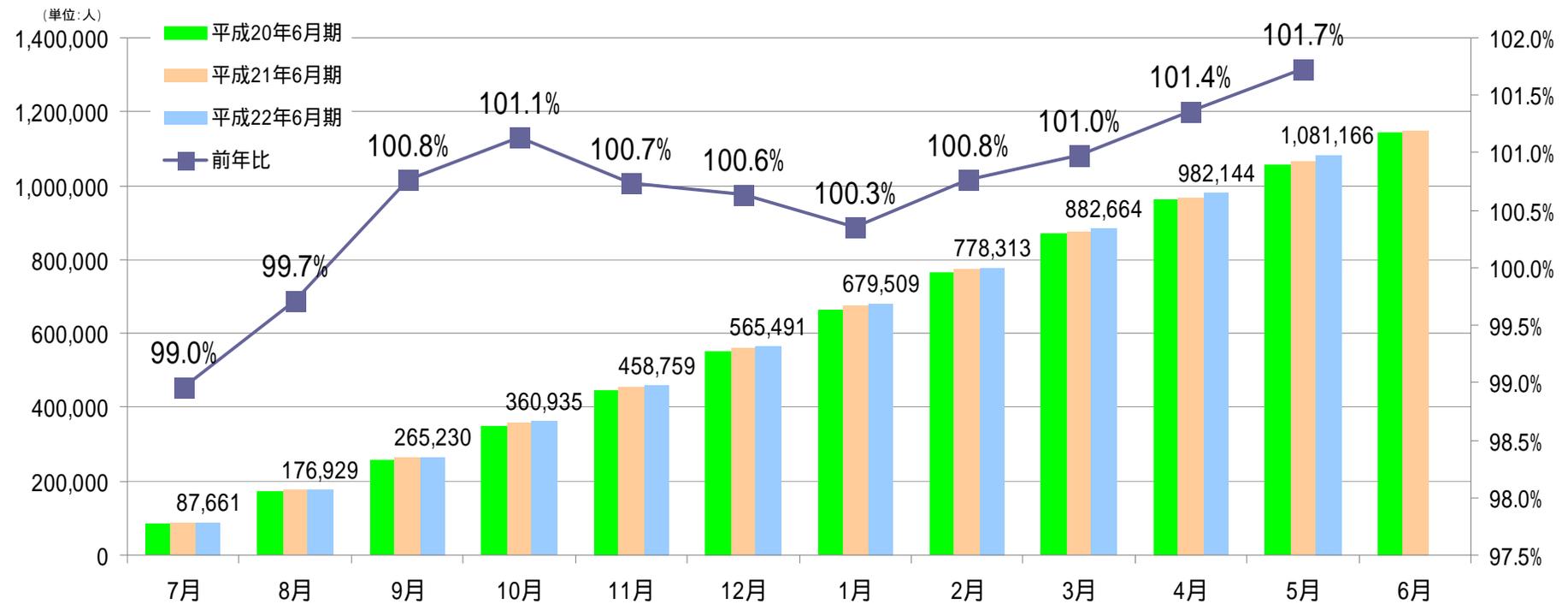


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
平成22年6月期	87,661	89,268	88,301	95,705	97,824	106,732	114,018	98,804	104,351	99,480	99,022	
平成21年6月期	88,584	88,844	85,803	93,674	98,516	106,480	115,257	95,246	101,661	94,930	93,831	85,760
平成20年6月期	85,564	88,835	83,685	92,462	95,664	104,267	111,394	103,169	103,596	95,410	92,769	85,027
前年比	99.0%	100.5%	102.9%	102.2%	99.3%	100.2%	98.9%	103.7%	102.6%	104.8%	105.5%	

生花祭壇事業：(資料)死亡人口推移

死亡人口 年度別 累積比較

7月～5月の累計で、死亡人口は前年比で101.7%となった。



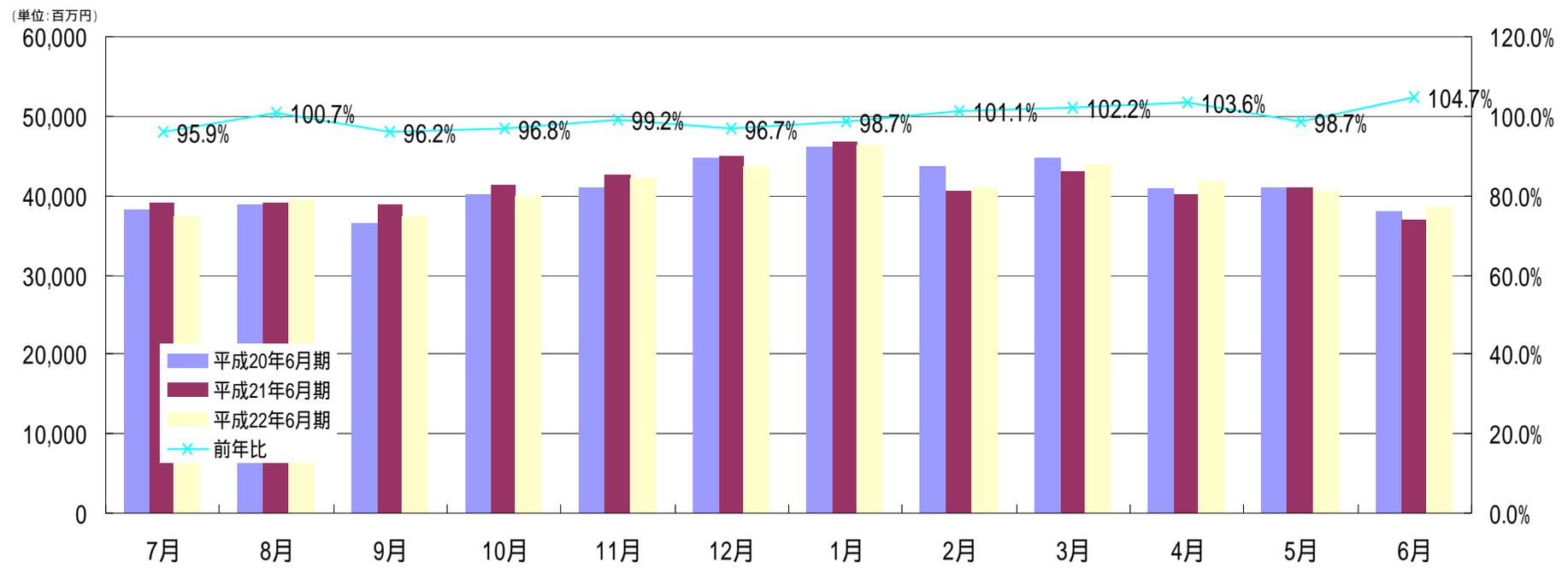
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
平成22年6月期	87,661	176,929	265,230	360,935	458,759	565,491	679,509	778,313	882,664	982,144	1,081,166	
平成21年6月期	88,584	177,428	263,231	356,905	455,421	561,901	677,158	772,404	874,065	968,995	1,062,826	1,148,586
平成20年6月期	85,564	174,399	258,084	350,546	446,210	550,477	661,871	765,040	868,636	964,046	1,056,815	1,141,842
前年比	99.0%	99.7%	100.8%	101.1%	100.7%	100.6%	100.3%	100.8%	101.0%	101.4%	101.7%	

生花祭壇事業：(資料) 葬儀社売上高推移

葬儀社売上高

経済産業省の6月度の葬儀社・売上データによると前年比で104.7%となった。

【単月推移】



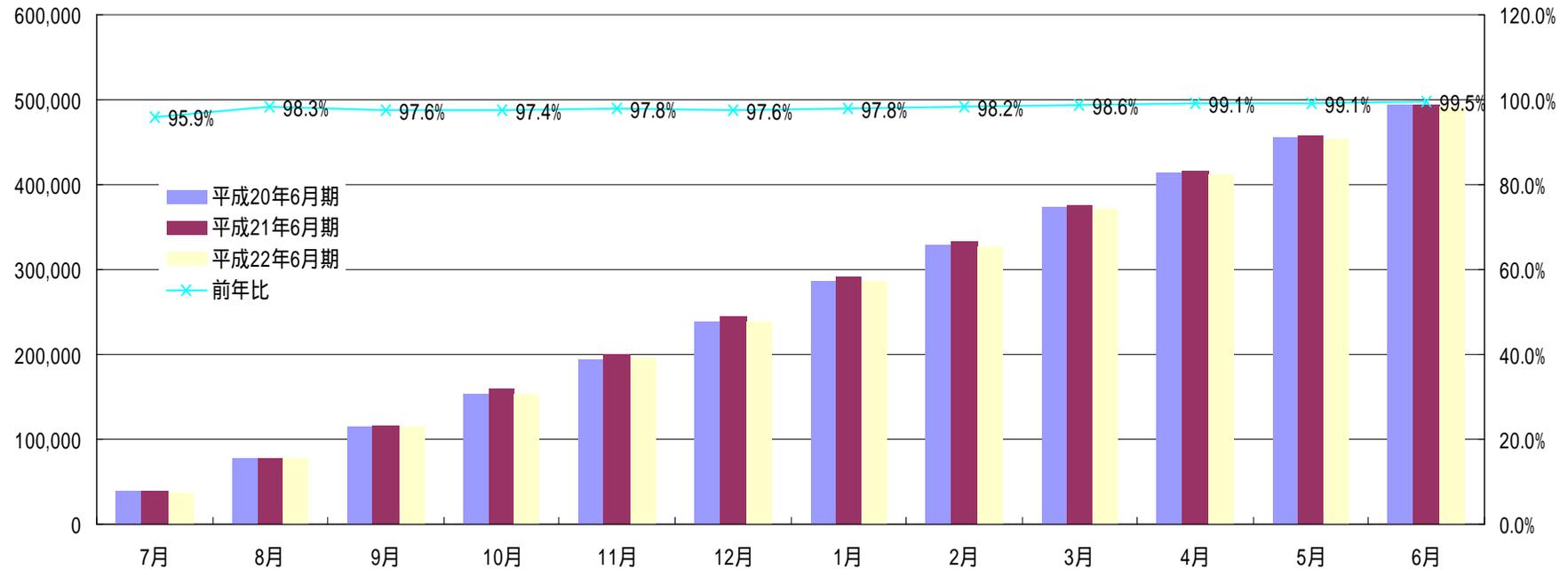
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
平成22年6月期	37,371	39,392	37,399	39,889	42,115	43,529	46,187	41,016	43,850	41,597	40,570	38,520
平成21年6月期	38,976	39,135	38,879	41,187	42,443	45,026	46,786	40,553	42,893	40,150	41,098	36,795
平成20年6月期	38,119	38,873	36,528	40,149	41,106	44,710	46,074	43,731	44,685	40,792	41,087	37,870
前年比	95.9%	100.7%	96.2%	96.8%	99.2%	96.7%	98.7%	101.1%	102.2%	103.6%	98.7%	104.7%

葬儀社売上高

経済産業省の6月度の葬儀社・売上データによると、累積で前年比99.5%となった

【累積推移】

(単位：百万円)

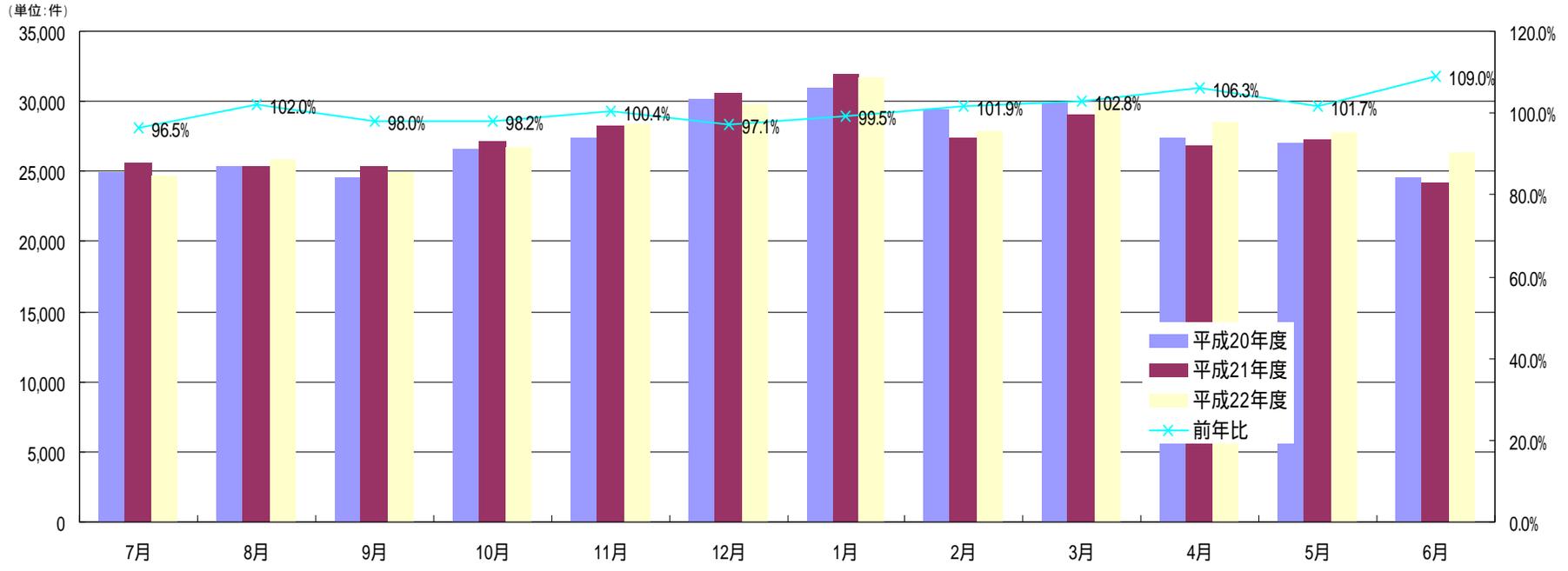


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
平成22年6月期	37,371	76,763	114,162	154,051	196,166	239,695	285,882	326,898	370,748	412,345	452,915	491,435
平成21年6月期	38,976	78,111	116,990	158,177	200,620	245,646	292,432	332,985	375,878	416,028	457,126	493,921
平成20年6月期	38,119	76,992	113,520	153,669	194,775	239,485	285,559	329,290	373,975	414,767	455,854	493,724
前年比	95.9%	98.3%	97.6%	97.4%	97.8%	97.6%	97.8%	98.2%	98.6%	99.1%	99.1%	99.5%

生花祭壇事業：(資料) 葬儀社取り扱い件数推移

葬儀社取り扱い件数推移(単月推移)

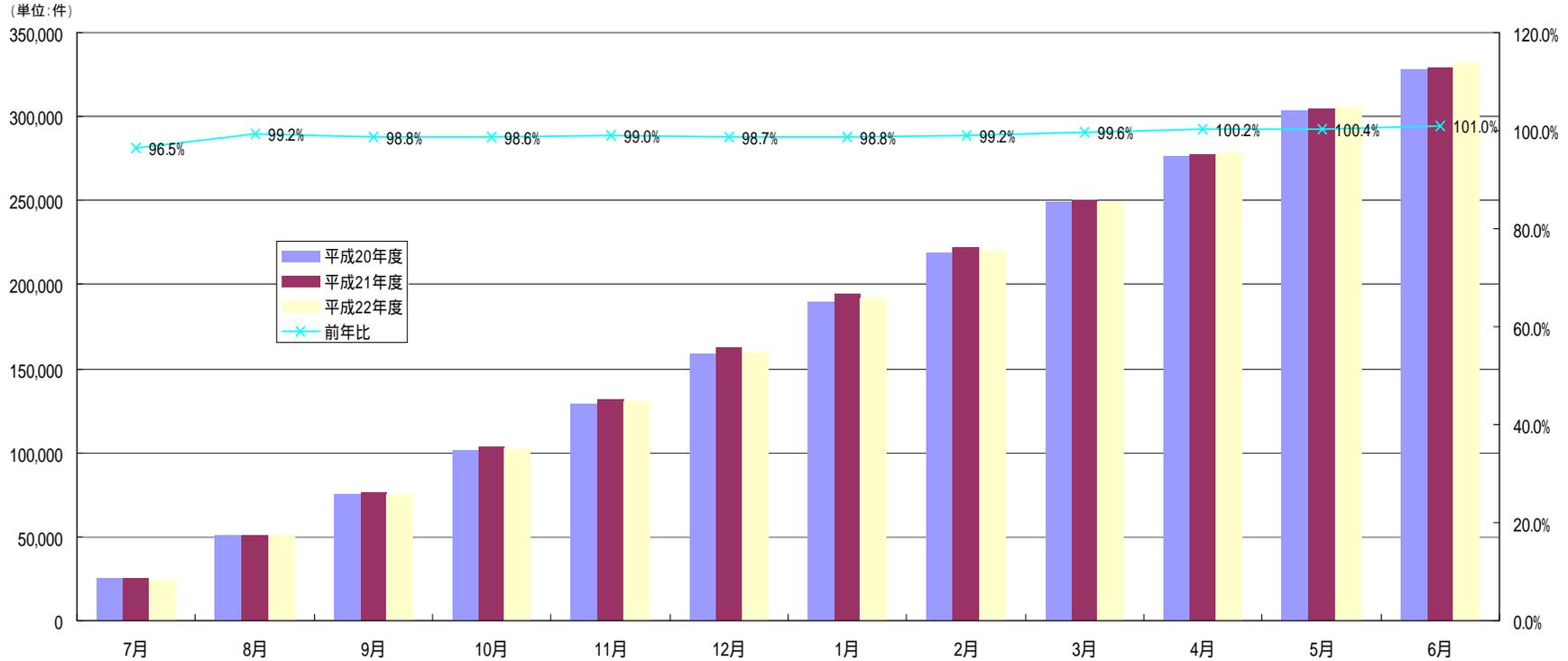
経済産業省の6月度の葬儀社・売上データによると、前年比109.0%



		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	平成22年度	24,696	25,898	24,904	26,684	28,306	29,734	31,714	27,922	29,829	28,482	27,720	26,381
	平成21年度	25,596	25,384	25,424	27,182	28,205	30,620	31,887	27,407	29,021	26,804	27,269	24,199
	平成20年度	24,964	25,445	24,505	26,526	27,395	30,092	30,913	29,435	29,950	27,413	27,085	24,553
	前年比	96.5%	102.0%	98.0%	98.2%	100.4%	97.1%	99.5%	101.9%	102.8%	106.3%	101.7%	109.0%

葬儀社取り扱い件数推移 (累計推移)

経済産業省の6月度の葬儀社・売上データによると、累積で前年比99.5%

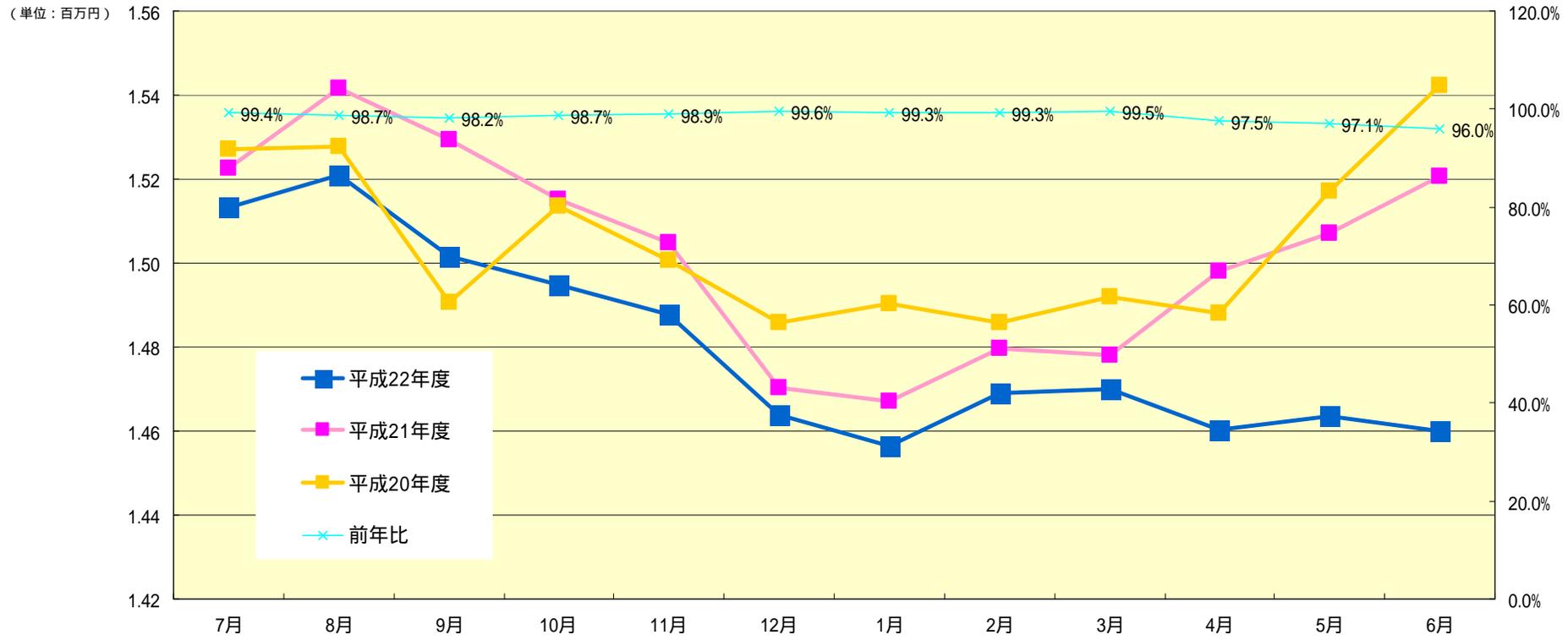


		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	平成22年度	24,696	50,594	75,498	102,182	130,488	160,222	191,936	219,858	249,687	278,169	305,889	332,270
	平成21年度	25,596	50,980	76,404	103,586	131,791	162,411	194,298	221,705	250,726	277,530	304,799	328,998
	平成20年度	24,964	50,409	74,914	101,440	128,835	158,927	189,840	219,275	249,225	276,638	303,723	328,276
	前年比	96.5%	99.2%	98.8%	98.6%	99.0%	98.7%	98.8%	99.2%	99.6%	100.2%	100.4%	101.0%

生花祭壇事業：(資料) 単価の推移

葬儀単価推移

葬儀単価は平成22年度に入ってから前年われが続き、最新の6月度は前年比で96.0%



(単位：百万円)

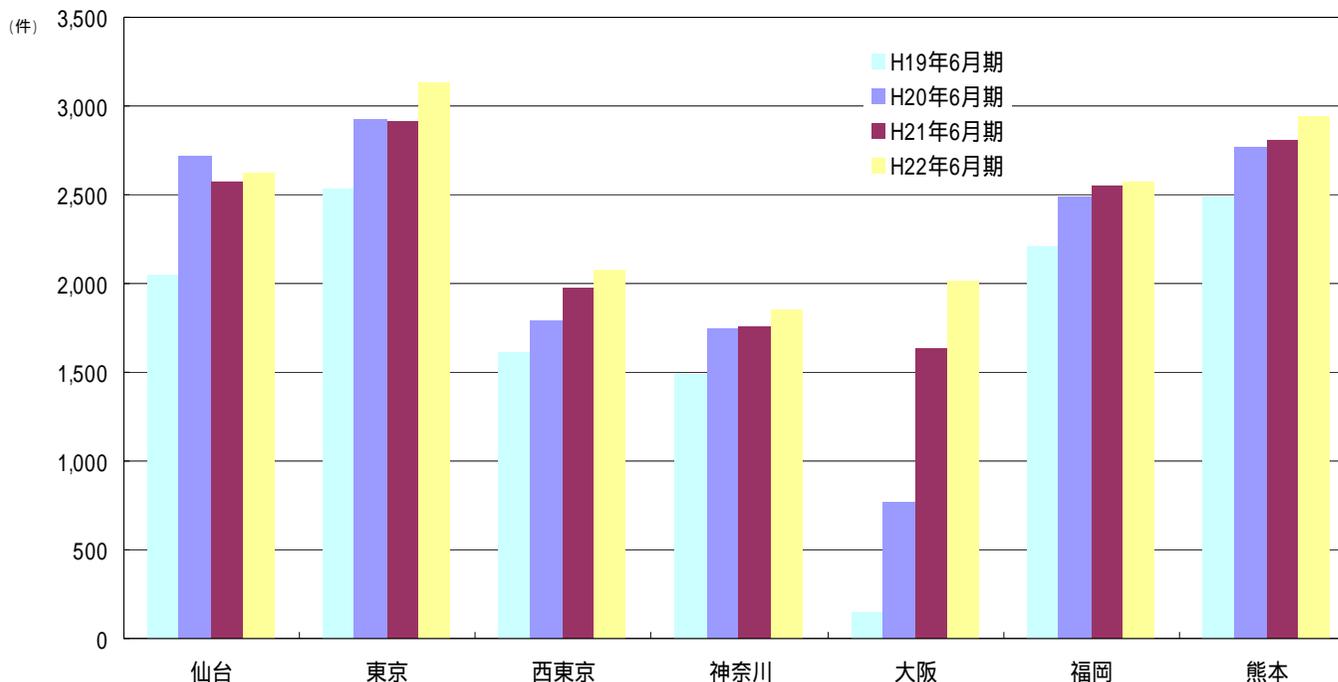
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	平成22年度	1.51	1.52	1.50	1.49	1.49	1.46	1.46	1.47	1.47	1.46	1.46	1.46
	平成21年度	1.52	1.54	1.53	1.52	1.50	1.47	1.47	1.48	1.48	1.50	1.51	1.52
	平成20年度	1.53	1.53	1.49	1.51	1.50	1.49	1.49	1.49	1.49	1.49	1.52	1.54
	前年比	99.4%	98.7%	98.2%	98.7%	98.9%	99.6%	99.3%	99.3%	99.5%	97.5%	97.1%	96.0%

支社別・地域別祭壇受注件数

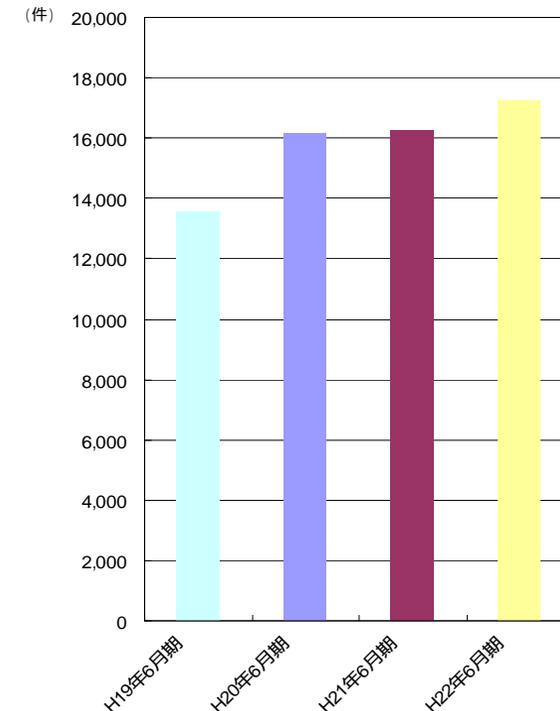
各支社別・地域別の受注件数は各支社で
 ほぼ増加しており、
 平成22年6月期は前年より **964件** 増加して
17,207件 (前年比 **5.9%**) となりました。

合計 / 売上金額	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期
仙台	2,054	2,716	2,572	2,621
東京	2,541	2,932	2,917	3,134
西東京	1,604	1,789	1,971	2,073
神奈川	1,485	1,745	1,753	1,856
大阪	149	765	1,629	2,010
福岡	2,213	2,487	2,547	2,568
熊本	2,486	2,772	2,806	2,945
総計	13,572	16,147	16,243	17,207

【各支社祭壇受注件数推移】



【祭壇受注件数総計推移】



各支社別・地域別の受注金額は関東地域で成長が停滞しており、その改善が課題。

対策 加工物流センターの稼働

全社での受注金額は、年々増加しています。

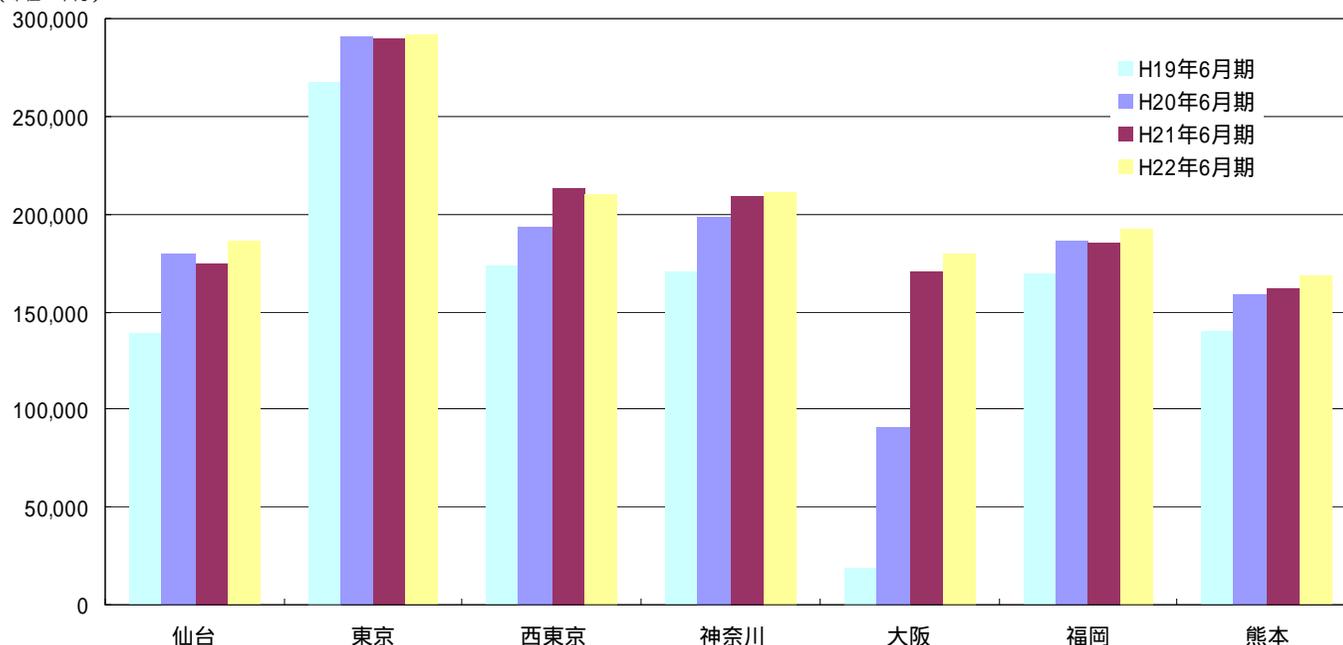
【各支社祭壇受注金額】

(単位：円)

合計 / 売上金額	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期
仙台	138,854,900	179,655,475	174,418,123	186,447,941
東京	267,249,570	290,274,503	289,244,673	291,154,965
西東京	173,772,900	193,083,000	212,739,950	209,917,750
神奈川	170,865,100	198,789,000	208,966,650	211,037,150
大阪	18,677,175	90,478,275	170,755,075	180,242,171
福岡	169,320,600	185,765,164	185,445,400	191,894,100
熊本	140,556,820	158,389,193	161,924,180	168,199,098
総計	1,175,563,710	1,379,561,195	1,409,121,301	1,438,893,175

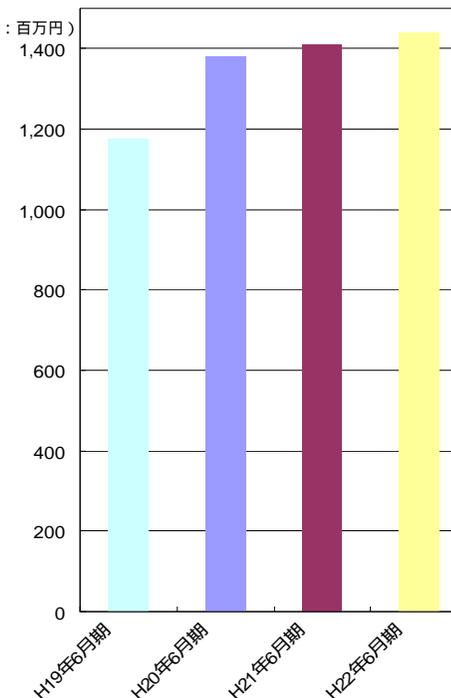
【各支社祭壇受注金額推移】

(単位：千円)



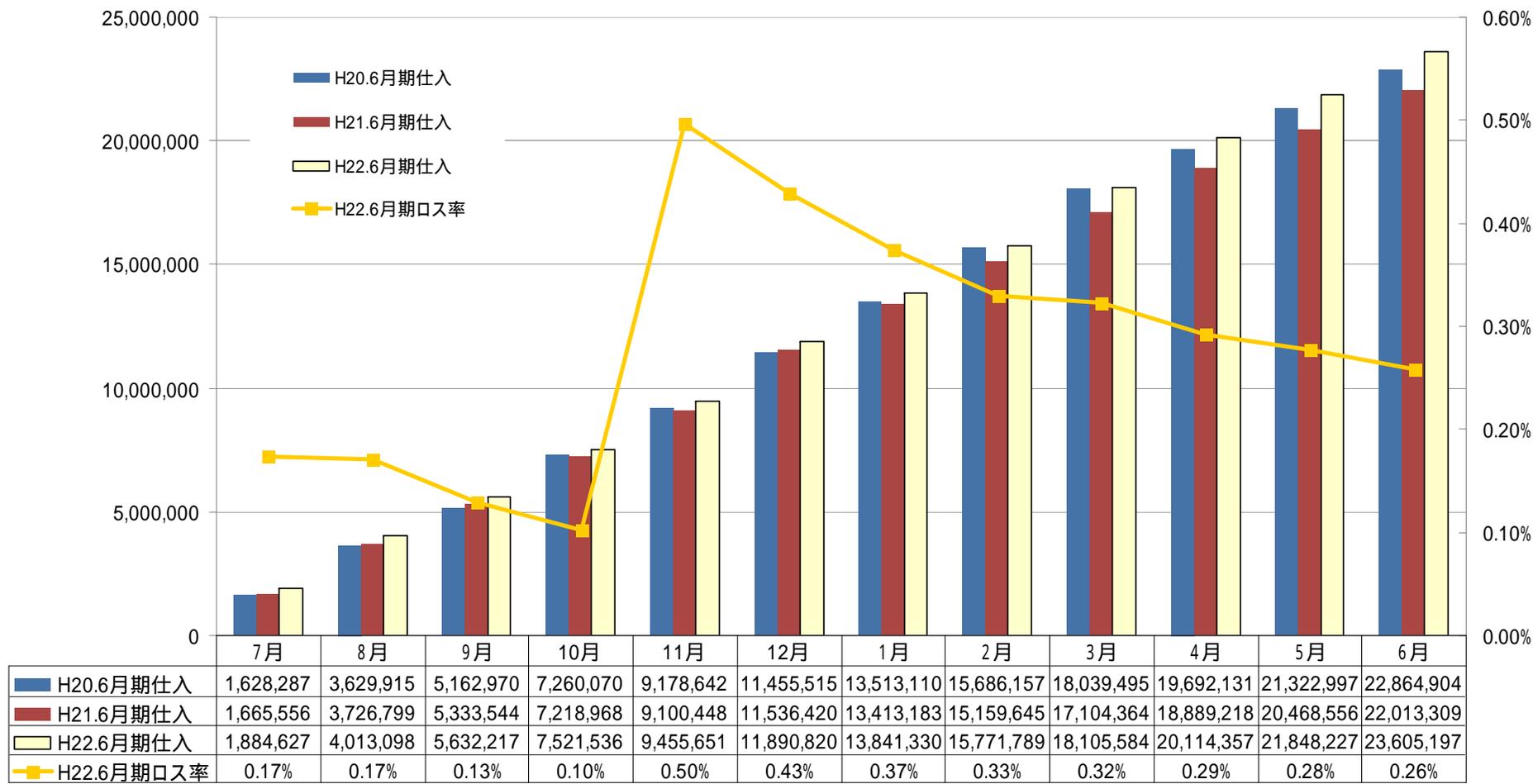
【祭壇受注金額総計推移】

(単位：百万円)



生花卸売事業：仕入れ本数とロス率の推移

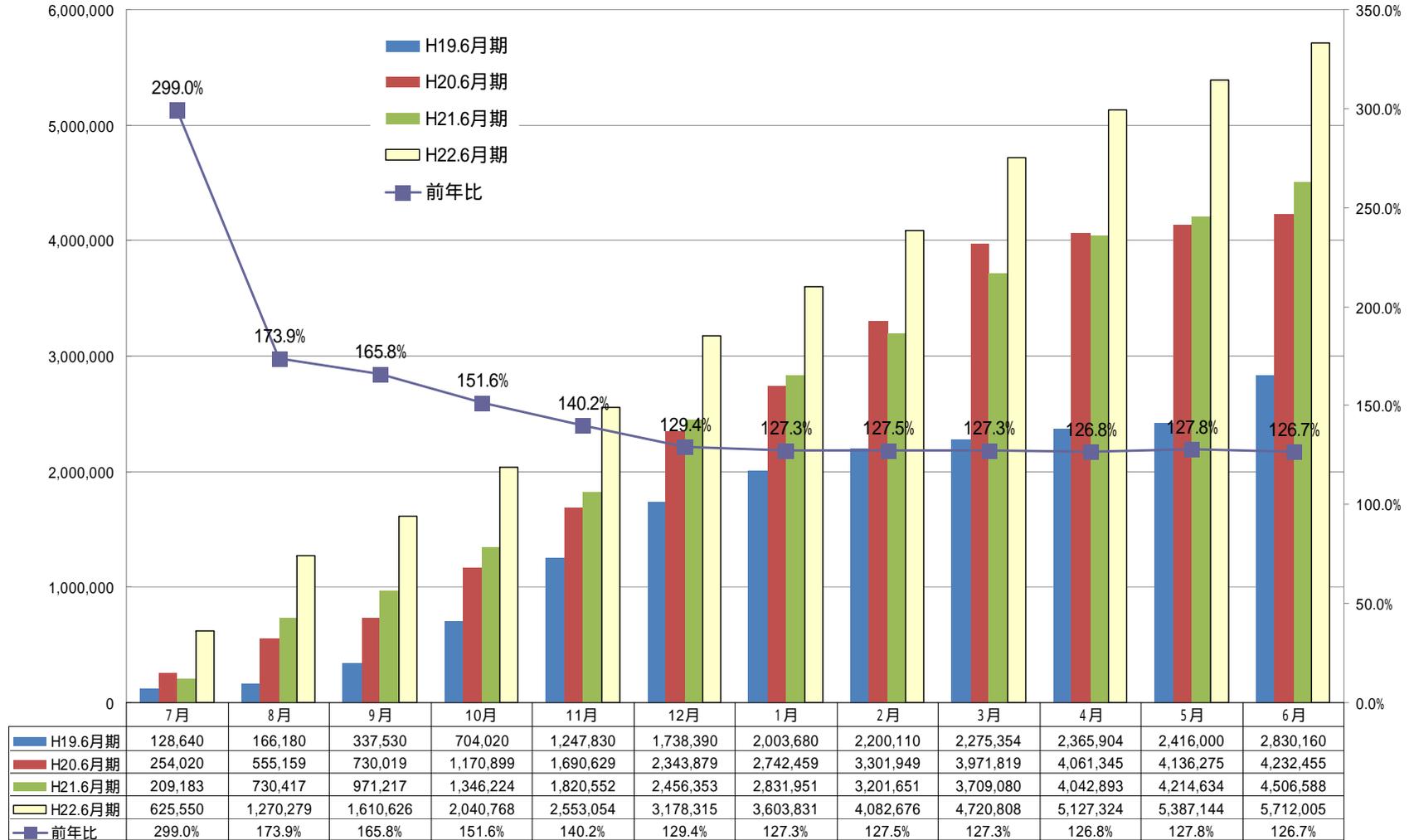
仕入れ本数は前年度に比べ順調に増加している。平成22年6月期は生花ロス率を0.25%に抑えた。



生花卸売事業：輸入本数の年次推移と比較(累積)

輸入本数は年々増加を続けており、前年比126.7%

【累積】



月度単位で変動はあるものの、**海外調達比率は確実に増加。**

台湾からの胡蝶蘭、コロンビアからのカーネーションの輸入が順調に拡大。



5 . 子会社の状況

【平成22年3月期(平成21年4月～平成22年3月)実績】

(単位:百万円)

	H21.3月期	H22.3月期	増減額	増減率
売上	216	307	91	42.3%
売上総利益	63	97	33	53.0%
一般管理費	61	61	0	-0.5%
営業利益	2	35	34	2056.5%
経常利益	1	35	34	2281.0%
当期純利益	2	30	29	1787.4%

決算のポイント

付加価値の高い日本式生花祭壇売上件数の大幅な増加に伴い、確実に利益を創出できる事業モデルを確立。

台湾最大の胡蝶蘭生産者との業務提携により、胡蝶蘭の対日輸出を拡大。美麗花壇の収益改善と日本国内におけるビューティ花壇の商品差別化戦略に寄与。

美麗花壇事業

生花祭壇事業

生花卸売事業

(大半がビューティ花壇向け)

【台湾式祭壇】



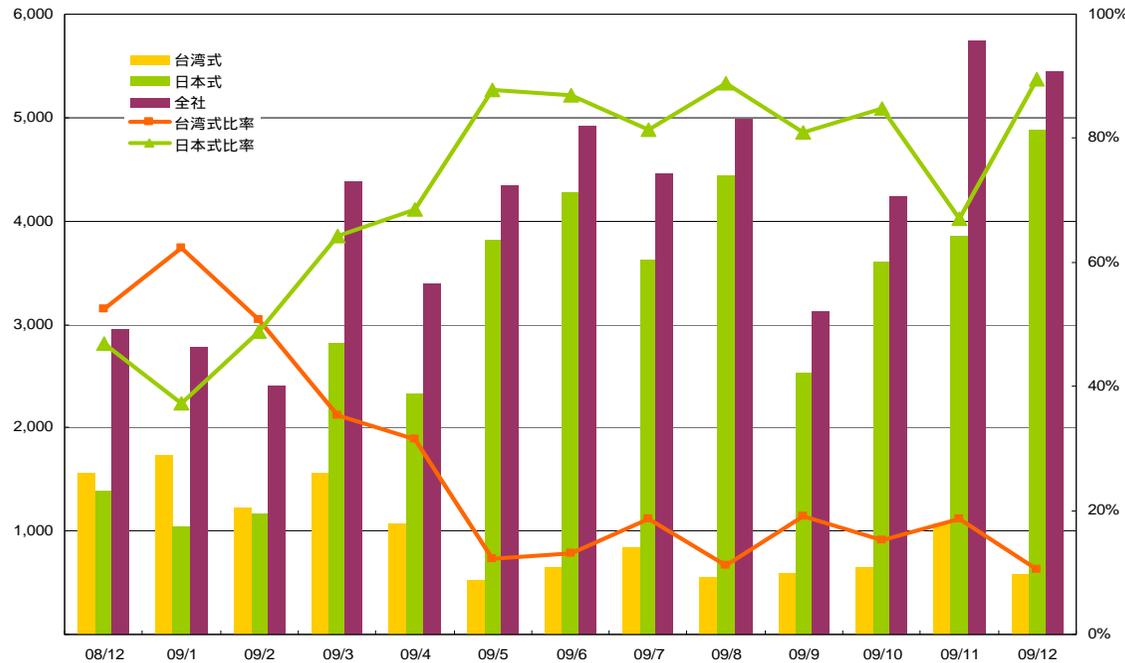
【日本式祭壇】



美麗花壇の新規店舗出店

- 2006年（平成18年） 10月 美麗花壇股份有限公司を合併会社として台北市に設立
- 2009年（平成21年） 9月 美麗花壇股份有限公司 新竹支店出店
10月 美麗花壇股份有限公司 台中支店出店
- 2010年（平成22年） 1月 美麗花壇股份有限公司 高雄支店出店

【美麗花壇における台湾式/日本式の祭壇売上比率】



現在台湾に4つの支店を展開



大型祭壇施工

4月26日、台湾・台中市にて行われたご葬儀にて設営した、幅19間（34.2m）×高さ5.7m（遺影高さ含む）の生花祭壇。



設営の様子



葬儀の模様を報じる現地新聞各紙

ブライダル装花:クラウンガーデネックス

クラウンガーデネックスの事業展開



会場装花



ブライダルブーケ

【平成22年5月期(平成21年6月～平成22年5月)実績】

(単位:百万円)

	H21.5月期	H22.5月期	増減額	増減率
売上	164	200	36	22.2%
売上総利益	90	127	37	40.9%
一般管理費	130	116	15	-11.2%
営業利益	40	12	52	
経常利益	42	9	51	
当期純利益	53	4	56	

決算のポイント

旬の花材の積極的な採用、商品仕様の見直し、仕入れルートの多様化による原価低減等による売上原価の抑制と、新規顧客の拡大、既存顧客との接点強化等による売上拡大により、大幅な収益の改善が見られた。



MLBカフェ (渋谷区恵比寿)

平成22年3月20日に熊本市でオープンした結婚式場「マリエール神水苑」造園工事に参加



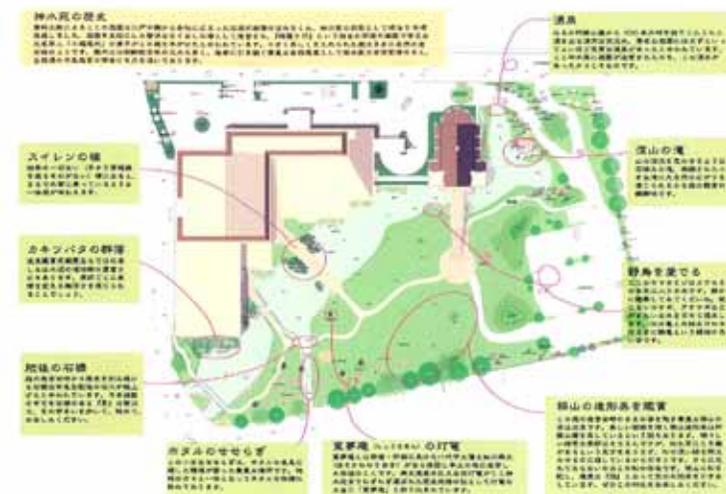
マリエール神水苑



「神水苑」は細川家の別邸として明治5年ごろ完成。歴史ある庭園には肥後の石工による石橋や樹齢300年を超える木々が貴重な文化遺産、自然遺産として残されている。

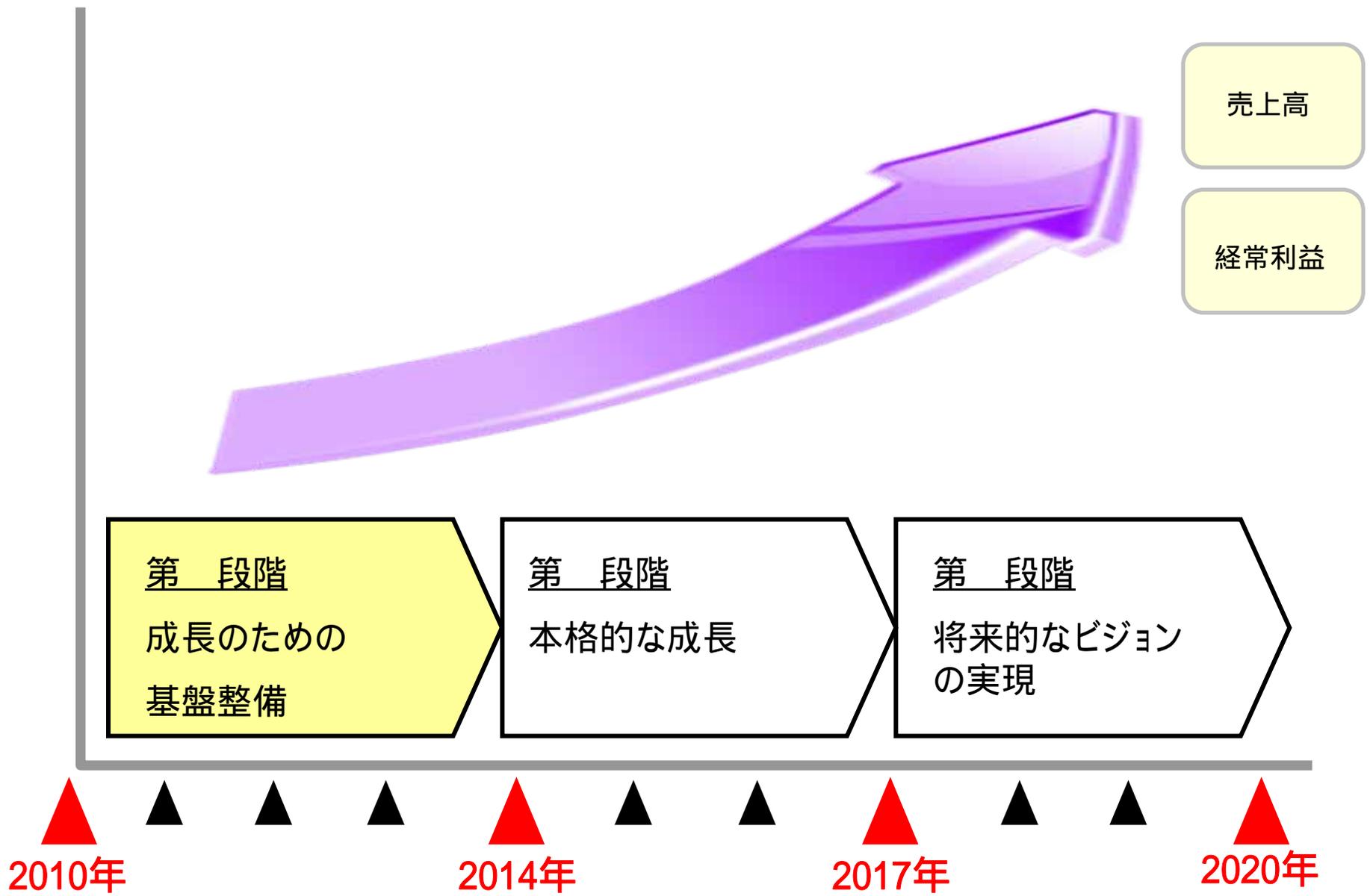
2008年に、当社大手取引先である冠婚葬祭グループ「ユーアイベルモニー」が跡地を取得、歴史ある美しい庭園の面影を残した新たな結婚式場を建設することが決定。

クラウンガーデネックスも造園工事に参加しており、これを緑化事業の新たな展開に繋げる考え。



6 . 今後の取り組み

将来的な成長イメージ



成長基盤の整備に向けた具体的施策

1. 加工物流センターの稼動(関東地区)

商品の作成を一拠点に集約することで、ムダ、ムリ、ムラを排除

2. 資本業務提携(M & A)の推進

シナジーが期待できる業務提携を推進

3. 海外事業展開の推進

中国・上海での事業展開を検討



……など



1.加工物流センターの稼動(関東地区)

全国で展開する成長企業と取引するため、また関東圏で売上を伸ばすためには以下の3つのキーワードが重要。

対応力

技術力

低価格

【補足】 祭壇の施工スタイルは地域によって異なり、
関東では作りこみ(支社内で祭壇を作成してから一旦ばらして運び、現場で組みなおして設置する)、
東北、九州、関西では現場挿し(斎場などの現場で1から祭壇を作成する)が主流。

1.加工物流センターの稼動(関東地区)

期待できる効果

1) 戦略的な商品開発、生花の調達が可能

旬の花を採用でき、低価格かつ季節商品による付加価値アップが可能

2) マーケティング

情報の一元管理により、戦略的な販売戦略の企画・立案が可能。

また、全国展開している急成長葬儀社ともコラボレーションが組みやすい。

3) トランザクションデータの一元管理、分析

顧客別、商品別、季節別、価格別の受注情報を一元管理、分析することで

効果的な販売実行計画が可能。経営層へのKPI提供スピードもアップ。

4) 商品の加工

商品加工と施工を分化することで、技術力のアップと効率の両立が可能。



1.加工物流センターの稼動(関東地区)

稼動計画

分類	内容	時期
加工物流センターのテストトライアル	関東3支社を対象に加工センターを稼動させる。課題の抽出、改善策検討、改善実行といったPDCAサイクルを回し、加工センターモデルのブラッシュアップを図る。	2010年12月頃
加工物流センターの本格稼動	商品開発から加工までの工程を囲うセンターで本格的に稼動させる。加工を担う技術職、施工を担う顧客サービス職のスキル等級制度の確立と教育体制を整える。	2011年6月頃
加工物流センターをハブ(中心)としたユニットを全国展開	加工センターをハブ、施工店を衛星としたユニットを全国の政令指定都市等に展開を検討。全国展開する葬儀社との提携も視野にいれる。	2013年6月期中 (再来期)

1.加工物流センターの稼動(関東地区)

平成22年7月から、東京支社内にてトライアル稼動を開始。
パート従業員を新規雇用し、供花の作成を行っている。



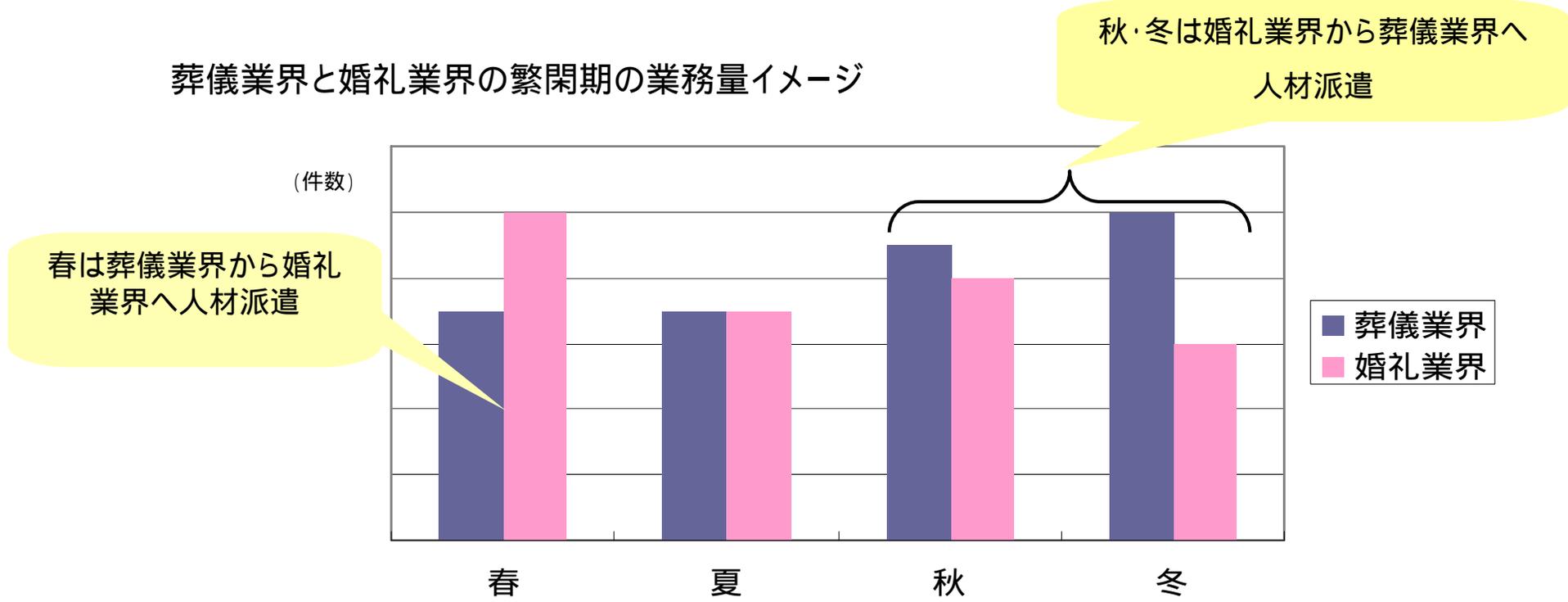
2. 資本業務提携 (M & A) の推進

計画の背景

原価の低減、業務効率アップにはスケールメリットの追求が必須。

フューネラル事業とブライダル事業の繁閑時期の相違を組み合わせ、労務費の平準化、効率化が可能。

葬儀業界と婚礼業界の繁閑期の業務量イメージ



2.資本業務提携(M & A)の推進

提携先について

1)フューネラル事業者との資本業務提携

売上10億円以上、提携資金2億円を限度、投資回収期間3年を目安として
資本業務提携先を検討。

2)ブライダル事業者との資本業務提携

多店舗展開を行っている事業者との資本業務提携を検討。



3. 海外事業展開の推進

背景

1) 台湾での成功

中国語圏でのビジネスの成功、ノウハウの習得

2) 中国本土での価値観の変化

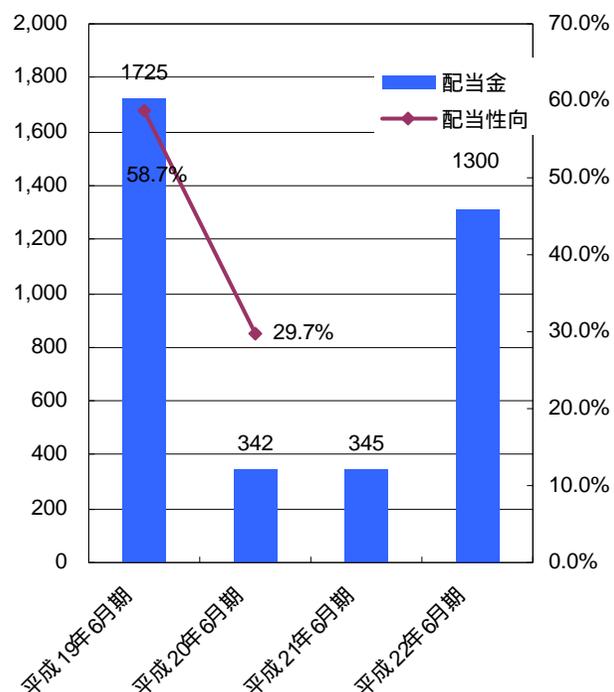
日本文化への拒否感低下、冠婚葬祭の価値観の変化

概要

市場調査、現地事業者との交渉を開始。
採算性を十分検討し、事業開始の判断。



7. 株主還元について



	1株当たり配当金
基準日	期末 (年間)
第二四半期時予想 (22年2月3日発表)	1,213円00銭
平成22年6月期配当予定	1300円00銭
当期実績	
(ご参考) 前期実績 (平成21年6月期)	345円00銭

平成22年度からの株主優待制度廃止を決定。(平成22年2月8日発表)

業績の向上に努めることこそが株主様への公平かつ有効な還元策であると判断。

当社の配当政策: 年間配当金として連結当期純利益の30%相当額を目標。

平成21年6月期は1500万円の連結純損失だったものの、経営展望や株主様に対する利益還元等を考慮し、1株につき345円を配当金として実施。

* 平成21年12月～翌2月、平成22年3月～6月にかけて3000株の自己株式の取得を実施
さらに平成22年8月10日付けの取締役会において、下記内容で自己株式の取得を行うことを決議

1．自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主への一層の利益還元を推進するため。

2．取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得しうる株式の総数 1,500 株 (上限)
- (発行済株式総数に対する割合6.78%)
- (3) 株式の取得価額の総額 67,500,000 円 (上限)
- (4) 取得期間 平成22年8月11日から平成22年12月31日まで

3．平成22年8月19日現在の自己株式の保有状況

- ・ 発行済株式総数 (自己株式を除く) 22,108株
- ・ 自己株式総数 3,000 株

本日はありがとうございました。

広報・IR室

Tel : 03 - 5776 - 5850

Fax : 03 - 5776 - 5851

e-mail : ir-info@beauty-kadan.com

HP : <http://www.beauty-kadan.com>

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。